

エコ・あぐり・タウン くねっぴ 応援団だより

平成25年 8月26日発行 NO.30

訓子府町の「ふるさと応援団」に参加いただき、ありがとうございます。みなさまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。

訓子府中学校の修学旅行では、平成21年度から地域学習の一環として『訓子府町PR体験』を本格的に取り入れ、生徒たちによる趣向を凝らした訓子府町のPR活動を行っています。

今年の訓子府中学校の修学旅行の日時と場所をお知らせします。お近くの方は、ぜひ訓子府中学校の生徒たちの活動をご覧ください。

- 日時 8月29日(木)
12:00~13:00
- 場所 札幌駅南口西改札



応援団トピック

訓子府バレーボール少年団男子チーム「訓子府ファイターズ」が、6月22日、23日に根室振興局管内別海町で行われた『ファミリーマートカップ第33回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会』に出場しました。

5月19日の美幌町での地区予選大会で、4チームによるリーグ戦の結果、2勝1敗と好成績を収め、3位で全道大会への出場権を獲得しました。北北海道大会には15チームが出場し、初戦では留萌地区代表にセットカウント2-0で勝ち、ベスト8に進出しました。2戦目で敗れたもののメン

バー全員、大舞台ですばらしいプレイを見せてくれました。

訓子府小学校の3年生から6年生までの7人のチーム!



まちづくり推進会議開催

第6回となる『まちづくり推進会議』が6月20日(木)午後6時30分から、26名の委員が出席し、町総合福祉センターうららの多目的研修室で開催されました。

最初に委嘱状の交付が行われ、町長のあいさつ後、「訓子府町まちづくりの現状と予算」について話し合いがなされ、委員の皆さんからたくさん意見や要望等が出されました。

会議の中では、以前「応援団だより」でも紹介した無農薬、有機栽培で育てた訓子府町産のちりめん赤シソを使用したシソ飲料『紫式部』を提供し、委員からも好評でした。



中体連全国相撲大会出場

頑張れ後藤雄大君(訓子府中学校2年生)!

中体連全道相撲大会が7月28日(日)北海道神宮相撲場で開催され、本町から出場した後藤雄大君が見事3位入賞を果たし、8月17日から岐阜県で開催される全国大会への出場権を手にしました。訓子府町はその昔、相撲が活発な町として知られ、草相撲大会や青年大会等での名勝負が現在でも語り継がれています。また、国民栄誉賞を授与された昭和の名横綱大鵬関が小学校時代を過ごした町でもあります。

後藤雄大君はお父さんのお仕事の関係から昨年、津別中学校から転校してきたばかり、訓子府中学校では吹奏楽部にも所属し、8月3日開催された第55回北見地区吹奏楽コンクールでもアルトサクソ奏者としても出場している文武両道の怪童の片鱗を見せており、後藤雄大君の今後の活躍が期待されます。



訓子府中学校ソフトボール部全道大会出場!

今年の夏も子ども達の活躍も目覚ましく、訓子府中学校ソフトボール部も中体連管内大会で優勝し、8月3日(土)札幌美香保グラウンドで開催された全道大会に出場しましたが、おしくも初戦で敗退しました。

訓子府小学校スクールバンド全道大会出場!

訓子府小学校スクールバンドは北見地区吹奏楽コンクールに出場、「プラスバンドのための小組曲第1番」(マルコム アーノルド)を演奏し見事「金賞」を受賞し、9月8日(日)札幌コンサートホール「きたら」で開催される全道大会に出場します。

北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課
Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600
E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp
URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

応援団からの声

・訓子府町を離れて50年になりますが、いつも故郷を応援しています。我が故郷、訓子府町は永久です。

・毎回「応援団だより」を送付いただきありがとうございます。レクリエーション公園に特別な思いがあります。一度は参りたいと思います。

他にもたくさんの温かいご意見等をいただいております。ありがとうございました。

町長's Eye



夏の風物詩 ふるさとまつり

第34回くねっふふるさとまつりが、7月13日(土)～14日(日)にかけて開催され、13日の前夜祭では行灯パレードや花火大会が行われました。



行灯パレード



花火大会

14日の本祭では、子ども向けのアトラクションやキャラクターショー(獣電戦隊キョウリュウジャー)が行われたほか、「歌と笑いのステージ」では、歌手の新沼謙治、お笑い芸人のU字工事、マーガレットきよしに出演していただきました。

売店には訓子府町と姉妹都市の高知県津野町から届いた特産品の販売を行い、すべて完売し、大好評でした。

30℃近い炎天下の中でしたが2日間で18,000人が来場し、おおいに盛り上がりました。



キョウリュウジャー



津野町販売



U字工事



新沼謙治

○訓子府青年団体連絡協議会(訓青協)○

6月15日(土)～16日(日)に札幌市宮の沢若者活動センターで行われた『第41回北海道青年祭兼第62回全国青年大会予選会』に訓青協が出場しました。

出場種目は「演劇」で訓子府町に伝わる『妻恋橋』の言い伝えをモチーフにした演劇を披露しました。

訓青協はこの舞台で最優秀賞という成績を収め、11月8日(金)～11日(月)に東京の日本青年館などで行われる『第62回全国青年大会』への出場権を獲得しました。

各大会で好成績を収めている訓青協には、これからの活躍にも期待しています。

～ストーリー～

他界した祖父母の家を片付けていた訓野衣鶴(くんの いずる)は、祖父の部屋の奥に隠してあった小さな箱を見つけ、知人の真知と一緒に中身を確かめることに。箱の中には、祖父の書いた手紙がたくさん入っていた。

一方、府高伊弦(ふだか いずる)は、子どもの頃に預かった祖母の日記を友人の純也と一緒に読み始める。そこに常連で訓青協の会長つぐみが、喫茶店のマスターを訪ねてきて…。

訓子府町の架空のカフェ&バー「アゼレア」を舞台に、3組の客がそれぞれの謎に迫りながら、『妻恋橋』のルーツを明かしていく。



訓子府消防団 ～イナズマ隊～



北海道内の12消防団による北海道消防操法訓練大会が7月19日(金)に江別市で開かれ、訓子府消防団が5年ぶりに出場しました。

訓子府町の消防団が北海道大会に出場するのは、平成20年以來5年ぶり3回目で、消防ポンプ車を活用するポンプ操法の部を含めると4回目になります。

大会に向けて編成されたチームは『イナズマ隊』。平成24年5月にチームを結成し、練習を始めました。冬期間は、屋内で基礎体力作りを行い、夏場は

中学校の敷地などを借りて本番さながらの練習を繰り返してきました。

北海道消防操法訓練大会は、道内各地12チーム(消防団)が参加しました。競技(訓練)は小型ポンプ操法で整列・号令・小型ポンプの操作から放水までの動きやスピードなど、規律・敏しように・安全性などが評価されます。スタートから放水するまでは45秒以内の規定があります。撤収完了までは、5分前後と、確実さとスピードも要求されます。

隊長は「悔いのないように大会に臨みたい。チームワークの良さで、訓子府消防団イナズマ隊をアピールしたい」と大会に挑み、結果は見事に5位と大健闘でした。



消防演習